

5歳児 山の組・海の組

(29名) (30名)

保育研究シート

2026年2月6日(金)

(担任) 佐藤寛子・伊川千晶・大江由布子

1. 子どもたちの姿

毎日張り切って登園し、友達と誘い合い、園庭でルーや鬼ごっこを始めたり、竹馬、鉄棒に挑戦したり、教材室で必要な材料を選び、製作にとりかかったりなど、子どもたちは、思い思いに自分のやりたいことがあり、その遊びに適した場所を選んで遊んでいる。お正月の駅伝の影響もあって走ることがさらに楽しくなった子どもたちも多く、その日、走りたいたいで、大学構内のマラソンも楽しんでいる。花壇の水やりや、園庭のお掃除など、保護者ボランティアのお仕事を、気づいた数人で手伝う様子も見られ、幼稚園を自分の場所として、それぞれに役割を見つけ、取り組んでみようとする気持ちが高まってきていることを感じる。

牛乳パックの電車遊びやペットボトルの蓋を利用したパイプードなど、子どもたちは自ら、好きな遊びを通して、友達との関わりを広げてきたが、小学校への接続も視野に入れ、関わりがより広がり、深まっていくようにと考え、2学期に、学年を4つに分けたチームを編成した。いつも遊ぶメンバーとは異なる友達との出会いに、当初は戸惑い、みんなが納得するチームカラーやチーム名を決める話し合いは、なかなかまとまらなかった。しかし、運動会が近づくにつれ、チーム対抗ルーで速く走るためのコツを伝え合い、チーム毎に取り組んだダンスでは、互いに声を掛け合う様子が見られ、チームの友達を仲間と感じて過ごしていくようになっていった。チーム活動をきっかけに、チームカラーの4色(青・黄・橙・緑)が子どもたちの馴染みの色となり、四色鬼ごっこは、子どもたちの好きな遊びとなり、連日楽しんでいる。

今年度も園の収穫物をみんなで分け合い、食べることをたくさん体験してきた。最初は、自分で食べることに夢中だった子どもたちだったが、徐々に3・4歳児に声をかけ、「みんなで食べるのもっとおいしい！」と進んで振る舞うようになっていった。また、今週初めに実施した豆まきでは、これまでの体験を重ねながら、3・4歳児がそれぞれに楽しめる内容を考えて取り組もうとする姿が見られ、園の暮らしを自分達で創りだしていこうとする気持ちが感じられた。

緊張が強く、新しいことには慎重な人が多かったり、友達関係で自分の思いを出せずにいる人がいたり、クラスを超えて混ざり合って遊ぶ姿が少なかったりとまだまだ課題は多い。一人ひとりが自信をもって自分らしくあることを大切に、友達と関わる楽しさを知り、多様である豊かさ、面白さを十分に味わい、互いに刺激を受け合いながら育ち合っていくことを願い、引き続き、援助を重ねていきたいと考えている。

2. 子どもへの願い (かかわりの視点から)

*自分とのかかわり ~身の回りのことに興味を持ち、諦めずに根気よく取り組み、自信をもつ~

一人ひとりが好きな遊びをじっくり取り組みつつ、新しいことにも挑戦しようとする気持ちをもつことで、新たな自分と出会い、自信につながっていく喜びを感じてほしい。

*人とかかわり ~友達と力を合わせ、アイデアやイメージを出し合いながら工夫して遊ぶ~

友達との関わりの中で多様であることを面白いと感じ、互いに認め合い、思いを伝え合いながら遊ぶ楽しさを十分に体験してほしい。

*もの・こととかかわり ~役割を担い、人の役に立つ喜びや、生活をつくっていく気持ちをもつ~

いろいろなことに興味を広げ、それぞれが自分らしさを発揮しつつ、友達と遊びや暮らしをつくり出す充実感を味わってほしい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ~9:10	登園 挨拶・身支度 遊びや生活を進める <保育室・廊下・アトリエ> 製作・ままごと・劇・コマ回しなど <園庭・お山> ドッジボール・リレー・サッカー・ 鬼ごっこ・縄遊び・竹馬・砂場・ モルモットのお世話など <遊戯室> 大型積木・キングブロック・コマ回しなど	・挨拶を交わし合い、それぞれのペースで遊び出せるよう支える。 ・前日までの遊びの流れに配慮しつつ子どものやりたいことを受けとめ、場や物の準備を丁寧に進められるよう教師も共に動く。 ・いろいろな人が関わり合うことで、遊びがより深まっていくような場の作り方、素材や道具等を工夫する。 ・やってみよう動き出した子どもたちが根気強く続けたり、刺激しあったりできるように教師も共に取り組みながら支える。 ・互いの思いや、ルール、やり方やコツ等、子どもたち同士で伝え合えるように、教師も一緒に遊びながらやりとりを支える。 ・使い終えた物を元に戻す、落ちている物を拾うなど、気が付いて取り組み姿を認め、皆で心地良く生活できるよう教師も率先して動く。 ・子ども同士で互いに声をかけあい、遊びに区切りをつけたり、協力して片付けに取り組んだりできるよう働きかける。
10:40	片付け・トイレ・水分補給	
11:10	集まり 絵本、歌、話し合い、 来週の前定等を共有する	・友達や教師の話に耳を傾け、みんなで過ごす時間を楽しめるように内容を工夫する。 ・落ち着いて、丁寧に身支度を進められるよう促す。
11:30	身支度・降園	・翌週に期待を持ち、気持ちをこめて挨拶をする。

<最近の遊びマップ>

<園庭>

四色鬼・リレー・馬尺伝

互いにルールを伝え合いながら、思い切り身体を動かして遊んでいる。友達と遊ぶことが嬉しく、誘い合わせて遊びが始まっていく。大学構内を一周、マラソンしに出かけることもある。

ドッジボール・サッカー

自分たちで線を引いて場を作り、帽子やボールなどを用意して遊び出す。遊びを進めながらルールの確認をしたり、作戦を考えたりすることもあり、子どもたちだけで遊びを続けられるようになってきた。

<子どものうち>

年長児だけが遊べる特別な場。3学期より使い始めた。おうちごこせ指編み、カルタなどをして、じっくり楽しんでいる。

<アトリエ・コート室>

保育室と少し異なり、つくったものや場をそのまま残せる特別な空間。水族館やおひげ屋敷、飛行場、電車の街、ダンスバトルなど、他学年の子どもたちも招待しながら、遊びが繰り広げられてきた。隣のコート室ではドミノを楽しんでいる。

<廊下>

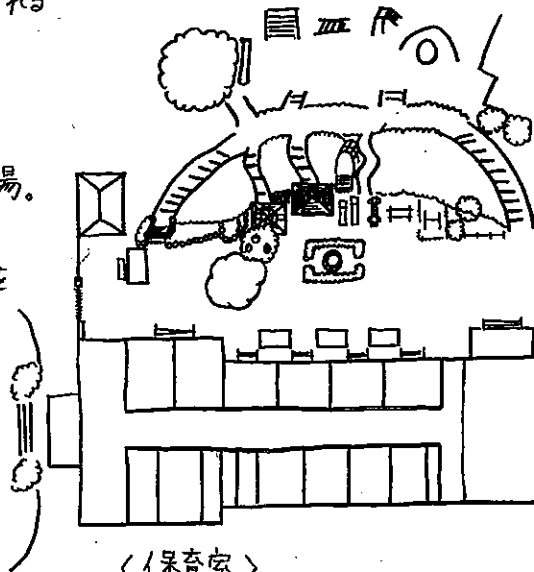
お店屋さんを開く場として好んで活用し、丁寧に作った品物や売物など、学年を超えた交流が見られる。

竹馬・縄跳び・金矢棒

友達に刺激をもらい、色々なことに挑戦している。できるようになったことを見せ合ったり、コツを伝え合ったり、繰り返し取り組んでいる。

<三和工>

道具を使ってお料理したり、草花で色水づくりをしたり、など、イメージを膨らませて遊んでいる。



<保育室>

自分のやりたいことを安んじてじっくり取り組める場所。友達との会話も楽しみながら遊んでいる。

製作

イメージしたものを形にしたい、本物らしく作りたいという思いが強くなってきた。試行錯誤しながら、こたわって作る姿が見られる。教材室で必要なものを選んだり、そこからアイデアが出てきたりすることもある。

Top場

友達とイメージを共有し、協力して山や海、トンネル、落とし穴を作るなど、ダイナミックに遊んでいる。ものを木製などに組み合わせ、工事現場に見立てていることもある。

<お山>

気の合う友達と誘い合って出かけ、のんびり過ごしている。季節によって景色が異なり、落ち葉や木の实で遊んだり、おまごをしたり、お弁当を食べに行くのも気に入っている。

<遊戯室>

大型積木・キングブロック

お家、お城、基地など、友達とイメージを重ねながら、工夫して作り、遊びを展開している。長椅子や平均台も使い、思い切り広く場づくりすることもある。

床りごこ・ショー

舞台を使って音楽床りや楽器、ダンスなどの様々なショーを楽しんでいる。長椅子を並べて客席を作ったり、チケットを作って呼び込みをしたりして、他学年の子どもたちを招待し観覧することを喜んでいる。

コマ回し

2学期の終わりに自分のコマをもらい、コツコツと取り組んでいる。友達と競い合ったり、技を考えたりする姿も少しづつ出てきた。